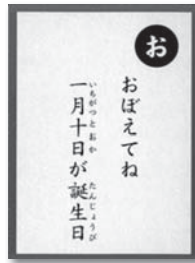


※現在、頒布は行っていません。



今号から「かるたでしもつけ再発見」がスタートします。『下野市ふるさとかるた』は、下野市の歴史と伝統あふれる郷土を知ってもらおうと平成20年に作製しました。絵札・読み札は、すべて市内小中学校の児童・生徒から応募されたものです。毎回、「下野市ふるさとかるた」から1札を選び、絵札・読み札を紹介しながら、下野市の魅力を再発見していこうと思います。

合併の日の1月10日は、「かんばんの日の日」として栃木県で制定されています（千びょうの「干」の字が漢数字の「一」と「十」で作られていることから）。生産日本一の下野市の誕生日と一緒にするのは奇遇ですね。



下野市は、平成18年1月10日、河内郡の南河内町、下都賀郡の石橋町、国分寺町が合併して誕生しました。「下野」は、歴史ある名称で栃木県民にとっては浸透しています。県外の方には、「しもつけ」と呼んでもらえないことがあり残念です。



今月は「お」です

かるたでしもつけ再発見

DVホットライン  
「ラム」

「誰に食わせてもらっているんだ!!」と殴るふりをしたり、物に当たったり…。実際に暴力されてないし、相手は怒らせる私が悪いのかしら？

でもちょっと待って。もしかして、それはDVじゃありませんか。

夫婦や恋人など親密な関係で行われる暴力をドメスティック・バイオレンス(DV)といえます。これまでは「夫婦げんか」、「カップルの問題であって他人が口出しすることではない」などと、たびたび見過ごされてきました。

あなたが我慢することで、エスカレートすることがあります。相談してください。

下野市DVホットライン  
☎(52)11600

相談日時 月・金曜日

(土日祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時  
(正午～午後1時を除く)

男女共同  
参画社会

19,577人

東日本大震災の避難所生活では、さまざまな問題が指摘されています。「プライバシーが守られない」「男女が必要とするものに違いがある」という声が聞かれました。

また、男性は早い段階で職場へ戻るため、生活全般の負担が女性に集中する傾向にあることや、安全の確保などについても男女の違いによる配慮が必要とされます。

今後、防災分野においても男女共同参画の視点からの仕組が不可欠です。冒頭の数字は全国の女性消防団員数です（平成23年消防団員数は、10年前（平成13年）の1万776人に比べ、81%増えました。

市の女性消防団員は昨年10月に誕生し、6人の団員が他の消防団員とともに活動しています。

問い合わせ先

総合政策課 ☎(40)5550

まずは相談

訪問販売による勧誘には十分注意しましょう！

突然、あなたのお宅に知らない業者が来たことはありませんか？

床下点検、屋根瓦の修繕、布団販売：…など。

床下点検、屋根瓦の修繕は住宅の施工業者に相談しましょう。また布団の訪問販売は一人で決めずに家族に相談しましょう。

契約書面に署名をする前に、考える時間をしましょう。疑問や、不安に感じることがあったら、消費生活センターに相談しましょう。

下野市消費生活センター  
専用ダイヤル(44)4883  
国分寺庁舎2階  
生活安全課内

相談日時 月・金曜日

(土日祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時  
(正午～午後1時を除く)  
栃木県消費生活センター  
電話相談は土曜日のみ  
☎028(625)2227